

お知らせ

教育長に千葉氏が再任

5月20日(水)付けで、千葉睦子氏の62歳が教育長に再任しました。



▲千葉 睦子 教育長

【略歴】平成元年宮城県教諭採用。鷺沢中学校教頭、宮野小学校校長、県北部教育事務所栗原地域事務所管理主事、県教育庁義務教育課課長、大崎市立古川中学校校長を歴任。令和5年から、市教育長に就任。

令和8年第3回 栗原市議会定例会

日程・内容

- 6月9日(火)本会議 会期の決定、議案の提案理由説明など
16日(火)〜19日(金)本会議 一般質問(個人質問)

22日(月)本会議 議案の総括質疑など

23日(火)各常任委員会・分科会 付託議案審査

24日(水)本会議 各常任委員会・予算特別委員会委員長報告、質疑、討論採決など

開会時間 午前10時〜 6月24日(水)は、午後1時30分開会

場所 市役所4階 議場 傍聴 席数25席 ※申し込んでも傍聴できません。

請願・陳情の提出 本定例会で審査する請願または、紹介する陳情は、6月19日(金)正午までに議会事務局へ提出してください。

議会中継の視聴方法 本会議中継は、本庁舎や各総合支所のテレビで視聴できる他、市ウェブサイトの議会情報から、中継を視聴できます。

議会中継 1170



市立病院の統合・再編に向けた市民説明会

栗原中央病院、若柳病院、栗駒病院の市立3病院の経営状況は、人口減少による患者数の減少や物価高騰など、さまざまな影響により非常に厳しい状況です。

医療サービスの提供を継続していくため、市立病院の統合・再編方針について、次の日程で説明会を開催します。

日時・場所 若柳会場 6月29日(月) 午後2時〜、午後7時〜

場所 若柳総合支所 栗駒会場 7月2日(木) 午後2時〜、午後7時〜

場所 栗駒総合支所 ※各会場とも同じ内容です

内容 市立病院の統合、再編方針など

申し込み 不要

医療局医療管理課 5631

土砂災害防止月間

6月は、土砂災害が多い時期です。次の情報などを活用し、家族や地域での自主的な防災に努めましょう。

県土木部総合情報システム 県内の河川・砂防の情報 をリアルタイムで公開



県砂防総合情報システム 危険箇所の上砂災害発生 関連情報を提供



県河川流域情報システム 県内の雨量や河川の水位、ダムの各種情報を提供し、 警報や警戒態勢情報を伝達



全国瞬時警報システム 全国一斉情報伝達試験

弾道ミサイル情報や、緊急地震速報など、緊急情報を瞬時に伝達する「全国瞬時警報システム(Jアラート)」の全国一斉情報伝達試験が行われます。

日時 6月3日(水) 午前11時頃

試験内容 国から配信された緊急情報を受信し、防災

市総合防災訓練開催

平成20年岩手・宮城内陸地震や東日本大震災、平成29年5月に発生した築館宮野大規模火災での経験と記憶を後世に伝え、災害への備えを強化するために、総合防災訓練を開催します。

日時 6月21日(日) 午前8時43分〜

場所 サン・スポーツランド栗駒

内容 消火訓練、救出訓練など

総務部危機対策課 1149

黙とうのお願い

平成20年岩手・宮城内陸地震から18年を迎える6月14日、

揚水機場の電気料金を補助

農業用水のため揚水機場の運転に使用した電気料金の一部を補助します。

対象 2戸以上の農家で組織する団体(水利組合など) ※個人や土地改良区、市管理のものを除きます。

補助率 4月から9月までの電気料金の総額が2万円以上の場合、支払い額の15パーセントから25パーセントを補助

申込期限 10月30日(金)

申し込み 各総合支所に備え付けの申請書に必要事項を記入の上、各総合支所市民サービス課に提出してください。

産業経済部農村整備課 1138

各総合支所市民サービス課

市内の文化財散策

真坂館と家中屋敷

真坂館跡は、一迫地区真坂にある近世の城館跡です。かつては照井川、後に一迫川と呼ばれた迫川左岸の丘陵に位置するこの場所には、仙台藩伊達家の重臣である白河氏の館がありました。

福島県の白河城を居城としていた白河氏は、小田原攻めに参陣しなかったことを理由に豊臣秀吉に領地を没収された後、慶長6年(1601年)に伊達政宗に召し抱えられました。その後、大崎市若山真山の小平に領地を拝領し、延宝3年(1675年)には、伊達家の「一門」という高い家格を拝しています。

一迫地区真坂の領地は享保3年(1718年)に賜ったものであり、白河氏は翌享保4年に完成した真坂館に移ったとされています。丘陵頂部の真坂館に対し、その南側、川に面した丘陵裾部の一迫地区川内は家臣が居住する家中屋敷にあたる場所です。文化14年(1817年)の様子を記したとされる絵図「伊達藩御一門白河家川内家中屋敷」には、



▲真坂館跡

山頂の「御館」と麓の門や家中屋敷、大手である桜小路や馬場、的場などが描かれており、地形を生かして配置されていたことが、現在の様子からも伺うことができます。

所在地 一迫真坂字山の上、川内

総務部文化財保護課 42)3515



市長随感

栗原市長 佐藤 智

未来へ語り継ぐ震災の記憶

今、栗原の大地は新緑のまぶしい季節を迎え、市内には、田園の水面に映る栗駒山など、生命の息吹を感じる風景が広がっています。さて、6月14日が近づくたびに、尊い命が失われ、多くの被害をもたらした平成20年岩手・宮城内陸地震を思い起こします。犠牲となった方々への哀悼の念と、全国からの支援のもと、復興に取り組んだ当時を振り返り、震災の経験や教訓を地域全体で共有すること、未来へ語り継いでいくことの大切さを改めて感じています。

栗原の震災の経験と教訓は、栗駒山麓ジオパークの活動として生かされています。災害の脅威だけではなく、大地の成り立ちや自然の恵みを学び、次の世代へ伝えていくことは、私たち



▲新たに導入したトイレカー